

### 生徒が参加した学校運営協議会（厚狭中学校）

厚狭中学校の学校運営協議会では、生徒会の執行部6名が目指す学校像や生徒総会で提案する項目について説明し、委員の質問にもためらうことなく答えました。中学生が大人の前で自分の考えを伝えることは、たいへん貴重な体験です。このような体験を通じて、生徒は自己肯定感や有用感、やりがいなどを感じ、さらなる貢献意欲につなげていくのだと思います。同時に大人も地域も成長すると考えます。子どもの生の声を聞き、それを生かしていく大人でありたいものです。



### 『図書館お話隊』による読み聞かせ（埴生幼稚園）

厚狭図書館の職員が、13名の園児を対象に絵本と紙芝居、大型絵本を使って読み聞かせを行いました。園児たちは職員の上手な読み方に引き込まれ、次はどうなるのだろうと最後までじっと聞き入っていました。“そらまめくんのベッド”という大型絵本の読み聞かせでは、園児たちは実物のそら豆の殻を見て「ふわふわ」「ふかふか」と言いながらそっと触っていました。その後、職員からもらったそら豆と4月に園で収穫して乾燥したそら豆とを比べて、不思議そうにいつまでも見ていました。



### 茶摘み（高泊小学校）

1年生と6年生の計84人が、6年前に30本植樹された茶園で茶摘みを体験しました。高泊小では、毎年この時期に新芽を摘むのが恒例行事となっています。6年生女子は地域の学校支援ボランティアの方から緋の着物の着付けを教わり「いつもとちがって新鮮な感じ」、男子は法被をまとして「しゃきっとして伝統を感じる」と話していました。その後、6年生児童は収穫した茶葉1.4kgを保護者と製茶作業を行い、新茶が給食時間に全校児童にふるまわれました。

